

中央図書館からのお知らせ

募集

郷土文化セミナー 「貝化石が語る勇払平野の生い立ち」

勇払平野をつくる沖積層中には、約1万年前の海や沼に生息していた貝が化石として残されています。そうした貝化石をもとに、縄文時代の苫小牧沿岸の海況変遷について、元美術博物館館長 荒川忠弘氏が紹介していただきます。



日時 9月28日(土) 13時30分~14時30分

対象 どなたでも(定員50名 先着順)

会場 2階講堂

受付 9月1日(日)~ 中央図書館カウンターまたは ☎0144-35-0511

募集

バリアフリー映画上映会 「春との旅」 邦画(134分) 仲代達也・徳永えり/出演

場面展開や登場人物の動きなどを説明した「音声ガイド」と、セリフや音などを説明した「日本語字幕」がついた、視覚や聴覚が不自由な方も単純に作品が好きの方も一緒に映画を楽しめる上映素材を使用した上映会です。

日時 9月14日(土) 13時30分~15時44分

対象 どなたでも(定員70名 先着順)

会場 2階講堂



お知らせ

認知症施策総合推進事業 認知症フレンドリー図書館

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するために、認知症の普及啓発を目的とする各種展示・作品展や、9月16日(月・祝)には講演会などのイベントを開催。

日時 9月14日(土)~9月29日(木)

会場 中央図書館1階エントランス・カウンター前ほか

主催 苫小牧市介護福祉課 ☎0144-32-6347

詳しくは館内掲示ポスター、または「広報とまこまい9月号」をご覧ください

お知らせ

移動図書館車 とまチョップ図書館号が たるまえサンフェスティバルへ

ふだん市内26カ所のステーションを巡回している移動図書館車とまチョップ図書館号が、9月14日(土)・15日(日)にアルテンで開催される「たるまえサンフェスティバル」に出張します。見学、貸出返却のほか、とまチョップが描かれた車体と一緒に記念撮影もできます。



募集

いとうみくさん講演会 物語を書くということ

児童文学作家いとうみくさんをお迎えし、作品に込めた思いや大切にしていることなどをお話いただきます。(苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会共催)

日時 9月7日(土) 13時30分~(13時00分開場)

対象 どなたでも(定員70名 先着順)

会場 2階講堂

受付 8月1日(木)~中央図書館カウンターまたは ☎0144-35-0511



ぱ
び
る
す

2019年

9月号

編集/発行
苫小牧市立中央図書館
指定管理者TRC苫小牧
グループ

〒053-0011
北海道苫小牧市末広町
3丁目1番15号
TEL 0144-35-0511
FAX 0144-35-0519
✉ info@tomakomai-lib.jp

1階・2階ガラス展示 「胆振東部地震から1年 身近な防災について考えてみよう」

2018年9月6日の深夜、大きな地震とその後北海道全体に広がった大停電から一年が経ちました。あまりにも身近で起こった災害に、心を痛めた方も多くことでしょう。みなさんはあの地震から何を学びましたか？ あれから1年、いま自分や家族を守る準備はできていますか？ 北海道総務部危機対策局危機対策課防災グループ様のご協力のもと「防災」について考える展示をご覧ください。

また、被災した近隣の図書館の復興状況や、大きな被害はなかった苫小牧市立中央図書館の災害対策についてもお知らせしています。

【協力】北海道総務部危機対策局危機対策課防災グループ

OPAC[検索機]横展示 「災害に備える」

大正12年9月1日『関東大震災』が発生。10万人以上の方が亡くなられる大惨事となりました。昭和34年9月には、戦後最大の台風被害となった『伊勢湾台風』が上陸しています。この2つの大災害を受け、『広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する』として、9月1日が『防災の日』と制定されました。

その後も幾度となく自然災害に見舞われている日本。昨年9月『胆振東部地震』では、多くの死者負傷者、建物損壊、道内全域に及ぶ大停電、各地で断水…何不自由ない平穏な日常は一瞬で破壊されてしまうことを思い知らされました。

時が過ぎて、例え何事もなかったかのように復旧され元の生活を取り戻したとしても“あの日”を決して忘れる事無く、突然襲ってくる非常事態に落ち着いて行動が出来るよう、常日頃からの備えを怠らないようにしていきたいと思えます。

『日本人は大災害をどう乗り越えたのか』文化庁編/2017年6月 朝日新聞出版[210.17 ニ]



新刊横展示 「クララ・シューマン生誕200年」



暑い夏が終わり、まもなくやってくる芸術の秋。「魂の音楽」と評された演奏で、19世紀もっとも有名なピアニストとなった“クララ・シューマン”をご存知でしょうか。「トロイメライ」で知られる作曲家、ロベルト・シューマンの妻でもあります。高い技術はもちろん、その美しい美貌はユーロ統合前の100マルク紙幣にも肖像画に使われたほど。今年クララの生誕200周年。ピアニスト以外にも世界で活躍する女性音楽家にスポットをあて、展示をご用意いたしました。本を読んで気になった作品があれば、実際の作品も聞いてみてください。

『クララ・シューマン』カトリーヌ・レプロン/著, 吉田 加南子/訳 河出書房新社, 1990.02 [953レ]

YA展示 「読書の秋 スタッフオススメ本」



今回のYA特集は、中高生のためにスタッフが選んだおすすめ本です。スタッフが中高生の頃に読んでドキドキわくわくした本・印象に残った本・ウルウル感動した本。大人になってから読み、あの頃出会っておきたかった！という本。児童対象の本だが、中高生の方にもう一度読んでほしい本など、いろいろ選びましたので、手に取って読んでみてください。もし気に入った本が見つかり、その本がお気に入りの一冊になってくれたらうれしいです。

『月の影の海 下(十二国記シリーズ)』小野 不由美/著 東京:講談社, ヤング BF オ 2

児童丸テープ展示 「詩の世界をのぞいてみよう」

心を表すにはどうしたらいいの？ 誰かにこの気持ちを伝えたい時はどうするの？ 昨日のきれいな夕焼けを忘れないでいたいけど。朝早く庭で鳴いてた鳥の声を友だちに教えたいけど…。そんな時はやっぱり「言葉」言葉は大切。心の思いをぴったりあてはまる言葉であらわしていくと「詩」が生まれると思います。「詩」っておずかしそう？ 少ない言葉のぶんだけ読んであなたの気持ちも膨らみます。ちょっとのぞいてみませんか？ 詩の世界は楽しいです。

『あっぱれのはらうた』くどう なおこ/詩・文, ほてはま たかし/絵 童話屋, 2014.05 [911 ア]



8月の館内展示紹介

8月31日(土) ~ 9月26日(木)



図書館の裏側や豆知識などあれやこれやを紹介する雑談日記。
第28回目は「相互貸借」について

図書館員の
雑談日記

読みたい本が本屋さんで「もう売っていないです」って言われたり、図書館の検索機で探してみただけで「ない」ってこと、ありますよね？でも、あきらめないでください。図書館のサービスの中には「相互貸借」というものがあり、国立・都道府県立、または近隣の本を持っている図書館からその本をお借りしたり、複写してもらうことができます。ルールを守っていただければ、もちろん無料（複写は実費をお客様負担）で、所蔵する図書館を探して、貸出（相手館の条件によっては館内で閲覧や複写）することができます。図書館同士お互いに協力して成り立っているサービスなので、通常の貸出以上にお願い事やルールがありますが、どうぞご理解ください。

【相互貸借を続けていくために、みなさんに守っていただきたいお願い事】

- ・調査や相手館の都合でお時間をいただく場合があります、2週間～1ヵ月程度余裕を見てくださると助かります。（調査研究、論文作成など、特にお急ぎの事情がある場合はその旨ご記入またはお伝えください。）
- ・システムの都合上、担当からのご相談・ご連絡に、Eメールは使えないので、ご了承ください。
- ・相互貸借の本は、特に返却期限を守り、大切に扱ってください。（万が一、汚したり破ってしまった場合など、一度担当までご相談ください）
- ・他市町村の図書館に直接申し込むのではなく、苫小牧の図書館でご相談いただくか、予約申込書にご記入ください。リクエスト購入または相互貸借で、お探しの本をお手元に届けるよう努めてまいります。

レファレンス
小断4



「図書館でこんなこと聞いても、いいのかしら？」と聞かれることも多いのですが、レファレンスとは、一言でいうと「調べもののお手伝い」のこと。調べたいことがあれば、遠慮なくお尋ねください。レファレンスカウンターでお待ちしております。ここでは、実際にいただいたレファレンス事例をご紹介します。

字を覚えた高知か奈良の70代の方が、「夕焼けを見てもあまり美しいと思わなかったけれど、字を覚えて本当に美しいと思うようになりました」ということを詠んだ詩があり、もう一度見たい。もっと長生きして、いろいろなことを知りたいという内容で岩波新書だったかと思う……。こんなレファレンスを受けたことがあります。

この詩（実際には手紙）は、北代 色さんという還暦を過ぎてから識字学級で仮名を覚えた女性が高知県の元県会議員の方に宛てて書いた手紙で、識字（読み書き）運動に関する本の中では有名なもののようです。掲載本の書名はいくつかあがったのですが、当館に所蔵がなく、それでもPDF公開されている兵庫県三田市の広報に掲載されているものをご紹介します。（下記参照）

全文ほぼひらがなののですが、学びについての喜びを詩のように綴られている素敵な文章です。9月8日の「国際識字デー」にちなみ、識字にまつわるレファレンスをお届けいたしました。



わたくしはうちがびんぼうであったので、がっこうへいっておりません。だからじをぜんぜんしりませんでした。いま、しきじがっきゅうでべんきょうして、かなはだいたいおぼえました。いままでおいしゃへいってもうけつけてなまえをかいてもらっていましたが、ためしにじぶんでかいてためしてみました。かんごふさんが北代さんとよんでくれたので大へんうれしかった。夕やけを見てもあまりうつくしいとは思わなかったけれど、じをおぼえてほんとうにうつくしいとおもえるようになりました。

【北代色さんの手紙の一部抜粋】引用：兵庫県三田市広報『伸びゆく三田』平成27年2月15日号 人権さんだ No.431より

新刊案内
【一般書】

『ティッシュで作るリアルな昆虫』










駒宮 洋／著 ホビー・ジャパン,2019.07 [754.9 テ]

夏に虫取りで遊んだり工作をしたり、そんな懐かしい記憶を持つ人やつい最近やった人の中で、楽しかったワクワクした人の心をくすぐる一冊がこちら！カブトムシ、アゲハ、セミ、トンボ、カマキリなどを、あの柔らかくて薄いティッシュでどうリアルに再現できるのか？気になる作り方が写真付きでわかりやすく紹介されています。ここで気にとめておいて欲しいことがひとつ。世の中には虫が苦手な人もいます。「これ、ティッシュで作ったんだよ！」と見せる前に虫が大丈夫か確認を取ってあげてください。また作品をその辺に放置すると場合によっては周囲をととても驚かせるのでご注意ください。



日	月	火	水	木	金	土
1 	2 休館日	3	4	5	6	7  
8 	9 休館日	10	11 	12	13	14  
15  	16	17	18	19	20 	21 
22 	23	24	25 	26	27 休館日	28  
29 	30 休館日	【休館日】 毎週月曜日・最終金曜日 【開館時間】 9:30~20:00				

イベントカレンダー

-  よみきかせ(図書館スタッフ)
1日 14時~
-  よみきかせ(にじのはし)
14日 11時~
28日 11時~・14時~
-  赤ちゃんと楽しむ 絵本ひろば
20日 10時~
-  ストーリーテリング(おはなしオルゴール)
21日 14時~
-  よみきかせ(苫小牧こどもの本の会)
15日 14時~
-  ミニワークショップ
7日 11時~12時(受付10時30分)
-  バリアフリー上映会
14日 13時30分~
-  郷土文化セミナー
28日 13時30分~
-  いたうみくさん講演会
7日 13時30分~

図書館ミニシアター

毎週日曜13時30分~
2階講堂・無料・申込不要

9/8 『マダガスカル 1』

アニメ・吹替(86分)

セントラルパーク動物園の人気者、ライオンのアレックスたち仲よし4頭組。ある日、大自然にあこがれて動物園から大脱走。だけど人間に捕まって船で連れ去られてしまう。船から落ちてたどりついた先は、なんと、マダガスカル!

9/22 『ミッキーマウス 5』

アニメ・吹替(62分)

不滅のアイドル、ミッキーマウスの初期名作選集。5は、「ミッキーのお化け退治」「ミッキーの造船技師」「ミッキーの移動住宅」「ミッキーの捕鯨船」「ミッキーのはらぺこオーム」ほか全8話収録。

9/1 『ベンジャミン・バトン』

洋画・吹替(167分) ブラッド・ピット/出演

フィッツジェラルド原作による80歳で生まれ、年をとるごとに若返っていく男の物語。1918年のニューオーリンズに誕生し、大海原を渡り、真珠湾攻撃の戦火を潜り、再び故郷の地を踏むまでのベンジャミンの奇妙な人生を描く。

9/15 『ロング、ロングバケーション』

R指定PG-12 洋画・吹替(112分) ヘレン・ミレン/出演

元文学教師でアルツハイマー進行中のジョンと、末期ガンの妻・エラは、夫婦水入らずで旅に出る。毎晩思い出の8ミリでこれまでの人生を追懐しながら、ジョンが敬愛するヘミングウェイの家があるアメリカ最南端を目指す。

9/29 『永い言い訳』

R指定PG-12 邦画(124分) 本木 雅弘/出演

不倫相手と密会中に、妻が旅先の事故で親友と共に亡くなったと知らせを受けた人気作家の幸夫。ある日、妻の親友の遺族-トラック運転手の夫とその子供たちに出会った幸夫は、ふとした思いつきから幼い彼らの世話を買い出す。

図書館ナイトミニシアター

第2・第4水曜17時45分~
2階講堂・無料・申込不要

9/11 『アラバマ物語』

洋画・字幕(129分) グレゴリー・ペック/出演

アラバマ州の小さな街の弁護士アティカスは、ある婦女暴行事件の容疑者にされた黒人青年の弁護を担当することになる。人種差別と偏見に立ち向かい、青年の無実を晴らすと奔走する彼だが、町民たちはそれを快く思わずにいた。

9/25 『稚内発学び座』

邦画(103分) 渡瀬 恒彦・安達 祐実/出演

昭和60年代、校内暴力で「日本一荒れた学校」と報道された稚内南中学校。校長と教師の神崎は二人で非行に立ち向かうとする。郷土芸能部の生徒達に地域文化を理解させる為ソーラン節を勧めるが、生徒たちのノリは悪い...

※ミニシアター・ナイトミニシアターの内容紹介は、TRC MARCより